



～ 青春はここにあり 友情のわくところ♪ ～

フォトニュース

No.

113

令和3年8月20日

第52回ポプラ祭を成功させよう！▲



本校は、1900年(明治33年)10月16日 芦田村・横鳥村・三都和村学校組合立蓼科実業補習学校として開校しました。

地域と共に知恵と勇気を育む

長野県蓼科高等学校

〒384-2305

長野県北佐久郡立科町大字芦田3652

祝 創立120周年

蓼科高校は 2020年 創立120周年を迎えました

※ 記念式典、記念講演ともに新型コロナウイルス感染症対応のため、参加者限定で実施します。

◆記念式典

令和3年8月28日(土) 午後1時～午後3時20分 本校第一体育館

◆記念講演

演題 『個を伸ばす考え方』 ～東福岡高校ラグビー部の取り組み～

講師 藤田 雄一郎 氏

学校法人東福岡学園 東福岡高等学校 ラグビー部監督

2014年、2016年ラグビー高校三冠、2021年全国選抜大会優勝

◆記念事業

第一体育館緞帳の更新 電子グランドピアノの購入 記念番組・DVD制作

創立120周年記念第52回ポプラ祭 生徒会企画①

タイムカプセル～「タイムパスポート2020」掘り起こし

5月30日(日)、21年前の創立百周年記念第30回ポプラ祭(2000年9月1日)の際、埋めたタイムカプセルを当時の小林(旧姓・吉村)生徒会長さんら旧生徒会役員と現生徒会役員が共同で掘り起こしました。「当時は人力だけで穴を掘ったから(大変だった)」「穴の大きさが1m³って言われてて。掘らなきゃなって…」「そう。もう自分が埋まっちゃうくらいまで…掘っては土を出し、掘っては土を出しの繰り返しで。」と、掘り起こし当日の現旧役員座談会で当時のエピソードなどをお聞きするとともに、コロナ禍の今だからこそ協力しながら楽しんで文化祭を作り上げていくことは素晴らしいとのメッセージもいただきました。



「20年後の自分に手紙を書くことで改めて百年という年月の重さ、深さを感じました。そして、現在の私たちの写真や校舎内、校舎の周りの風景などを撮り、土の中に埋めました。20年後、未来の蓼科高校で私たちの高校時代が、土から出現すると思うと胸が躍る気がします。…私たちの愛する母校がずっと、この地で、私たちを待っていてくれることは、素晴らしいことだと思います」(創立百周年記念に寄せて、吉村生徒会長 当時)。

参加者の感想

- ・同窓生の皆さんがとても楽しそうに掘り起こしていたことが印象的だった。(現生徒会役員)
- ・タイムカプセルの掘り起こしを契機に同窓生と20年ぶりに再会できた。(同窓生)
- ・あっという間に掘り当てて、まるで昨日入れたような綺麗な状態で中から出てきた封筒・写真に大変感激した。(旧職員)



蓋を開ける現旧生徒会長



20年前の生徒会役員と座談会

▲蓋には「タイムパスポート2020 平成12年9月1日(金)PM6:19」と記されている。

全校ダンス～笑顔、つながる、一体感～伝統新たに



ダンス指導の萩原先生に花束贈呈

創立120周年記念行事の企画として全校ダンスが初めて話題になったのは、現執行部が発足して間もない初冬の頃でした。120周年記念事業は、未来の同窓生である在校生と共に取り組みたいと同窓会役員の方々の意向が当初からあり、「全校で協力して取り組めるものを」と、同窓会役員と生徒会役員、教職員で考えました。新型コロナウイルスの状況で先行きがなかなか見通せない中ですが、全校ダンスを通じて夢高らしさや自分達らしさ、自分達が自分達らしくいられる安心できるホーム(居場所)や一体感などをありのままに表現できればと考えました。

最初に執行部27人が振付を覚えて、全校に覚えてもらえるよう企画・運営し、全校への指導も生徒主体で行われました。「運動が苦手でもうまくやろうと思わず、みんなで楽しんでやろう」と、講師の萩原加奈子先生が5月に来校され全校で初めてダンス練習をご指導いただいた時のコメントにも励まされ、練習を重ねてグングン上達しました。振り返れば、ダンスを通じて自分を見つめ、お互いを知り、普段は話さない人とも学年をこえて関わることができました。

執行部はじめ全校がダンスを通して成長しコロナ禍の今だからこそ、笑顔で「つながる」大切さを教わりました。これまで蓼科高校で引き継がれてきたものを未来へつなげ、伝統が新たにになっていく「永遠の現在」。今の蓼高が、かけがえのない生徒一人ひとりの表現が、全校ダンスには溢れています。「蓼高在学中、120周年で全校ダンスやったよね。」全校ダンスの取り組みが、生涯忘れえない全校の共有財産として、いつまでも一人ひとりの記憶に残り、各自のこれからの人生にいろいろな形でつながり展開していくきっかけになることを願っています。



DVD収録を終えて 生徒会執行部

つなげる～創立120周年にかける想い・浅井みどりさんとの懇談から



新執行部に語る田村前生徒会長

8月3日、フリーアナウンサーの浅井みどりさんが来校、生徒会役員と懇談しました。今月28日に行われる創立120周年記念式典の総合司会を依頼した縁で、この打ち合わせ会の懇談が実現しました。懇談で語られた記念行事やポプラ祭にかける生徒会役員の方々の想いを掲載します。

- ・「創立120周年の企画を絶対に成功させてほしい。蓼科高校を更により良い学校にできるよう頑張ってもらいたい。」昨年10月の後期生徒総会で田村前生徒会長から託された想いがある。
- ・先輩方から引き継いだまたとない機会、蓼科高校に携わってくださっている方々の思い出に残る式典にしたい。(会長・副会長)
- ・今年の文化祭は創立120周年記念と同時に開催される、ぜひ成功させたい。準備は大変だが、その分やりがいがある。(文化祭実行委員長)



浅井みどりさんと生徒会役員懇談



120周年記念事業第2回実行委員会



120周年記念事業第5回式典運営会議